

令和 4 年度（2022 年度）中小企業活性化会議の審議経過について

経済政策課

1. 中小企業活性化会議の概要

- ・ 熊本市中小企業・小規模企業振興基本条例の第 11 条に基づく市長の附属機関
- ・ 市長の諮問に応じ、中小企業の振興に関する施策等を審議するもので、16 人以内の委員で構成する会議を年 2 回開催

2. 令和 4 年度委員の構成 ※氏名の五十音順

	所属等	氏名		所属等	氏名
1	熊本学園大学商学部教授	【会長】 伊津野 範博	9	一般社団法人熊本県工業連合会 理事副幹事長	垂見 和子
2	熊本市観光旅館ホテル協同組合理事	岩尾 健史	10	熊本県商工労働部産業振興局長	内藤 美恵
3	熊本県経営者協会 専務理事	岩永 秀則	11	熊本商工会議所 副会頭	西村 まりこ
4	熊本大学 熊本創生推進機構 地域 連携部門准教授	【副会長】 内山 忠	12	熊本県商工会連合会 専務理事	原 悟
5	熊本県商店街振興組合連合会会長	河島 一夫	13	熊本労働局職業安定部 職業安定課長	前田 好浩
6	熊本県中小企業団体中央会 専務理事	斉藤 浩幸	14	特定非営利活動法人熊本消費者協 会副会長	宮園 由紀代
7	日本政策金融公庫熊本支店 中小企業事業統轄	武智 徹	15	市民公募	迎田 恒成
8	熊本県中小企業家同友会 代表理事	田中 芳和	16	熊本経済同友会 常任幹事	森山 澄江

3. 審議の経過

(1) 会議の開催概要

① 第 1 回会議

【開催日】

令和 4 年（2022 年）7 月 12 日

【議事内容】

本市経済成長に向けた今後の取組、中小企業振興施策等について

② 第 2 回会議

【開催日】

令和 4 年（2022 年）8 月 10 日

【議事内容】

第 1 回会議のご意見等を踏まえた今後の方向性について

(2) 各委員からの主な意見

「創業・事業承継の促進」 関連	
	創業やスタートアップ支援については、オープンデータの提供、活用等も有効と考える。
	空き店舗の増加等を好機と捉える者もあり、未開拓の分野に対する企業等の挑戦を支援できれば良いと考える。
「新たな事業活動の促進」 関連	
	プレミアム付商品券発行支援や1億円キャッシュバックキャンペーンなどの消費喚起策については、ニーズが多いため、積極的に実施して頂きたい。
	人件費の負担が大きい企業等にとって、DXが重要と考えるが、関連する支援策等の情報収集を積極的に行っていない者が多いと考える。
「経営基盤の強化」 関連	
	今後、実質無利子・無担保融資等の償還が始まるため、企業等の融資返済に対する更なる支援が必要と考える。
	経営者層には、データ分析を経営にいかすためのリカレントやリスキリングの場が必要であり、その関連施策が有効と考える。
	合同就職説明会のリアル開催や、インターンシップ参加者に対する支援等も有効と考える。
	事務職は、ワークライフバランスを取りやすいので人気がある。労働者にとっての魅力は、賃金のみで決まらないため、各企業等による魅力の発信を支援することが有効と考える。
その他	
	原油価格・物価等の高騰に係る支援策については、ニーズが多い。
	空き店舗対策事業費補助金については、申請が少なければ、対象要件の更なる緩和を検討して頂きたい。
	目的税である宿泊税については、積極的な観光振興施策のために、前向きに議論して良いのではと考える。

4. 今後のスケジュール ※昨年度までのスケジュールに同じ

時期等	内容
10月上旬	会長から市長に対し答申
令和4年 第四回定例会	審議結果及び中小企業の振興に関する施策の実施状況を報告【議案】
令和5年 第一回定例会	審議結果等を踏まえた令和5年度当初予算事業を報告【予算決算委員会・経済分科会】